

◇よいお年を。

今年はいくつかの行事等を見直し、保護者の皆様にはこれまでとは違った形で学校行事をはじめ日々の授業等にご協力を賜り感謝申し上げます。ありがとうございました。

【ふるさとハイキング2023 12/7】



9月から12月は、学校において一番長く、充実する期間ですが、運動会のような全校挙げての行事をはじめ、各学年独自の取組もたくさん行われ、子供たちの成長を感じることができる場面が多数ありました。保護者の皆様には公開できませんでしたが、次のようなこともあります。

昨年度から指定を受けて中学校と連携して特別活動の実践研究に取り組んで参りました。週1回の学級活動、話し合い活動（保護者の皆様には、学級会といえピンとくると思います。）に重点をおいて、子ども主体の活動が促されるようになってきました。その結果、子どもたちに活気生まれ、今年のスローガン「やる気 勇気 元気 いっぱい 美馬小学校」に迫ることができています。



これは、私だけが感じていることでなく、今回の取組に昨年度から6度も指導助言をいただいた国学院大学教授 杉田 洋 先生も12月1日に授業を参観した後に「子供たちが変わりましたね。活気が出てきました。先生方全員の真摯な取組の成果ですね。」とおっしゃってくださいました。また、別の機会でも、来校された様々な方から「子どもたちと先生方が楽しく元気に学習していて、エネルギーをもらいました。」といったお話を何度もいただきました。

これに満足することなく、これまでの成果と課題を確認しながら、子どもの主体性・自発性をさらに伸ばしていけるように全教職員で取り組んで参ります。

早いもので、明後日から冬休みに入ります。健康・安全で有意義な休みとなりますようよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。

よもやま話「24時間は夕方から始まる？」～故 金田一春彦氏の本に次のような話があります～

歴史文学の中に、昨夜のことを「ゆうべ」「こよひ」と言わなければ意味が通らない例がある。当時1日の始まりは夕方からで、次の日の夕方までが1日であつたらしい。昔の人にとっては、日の出よりも月の出の方が重要な意味をもっていたということだろうか。ふと思うのが、外国でもクリスマスイブと言って25日のクリスマスより24日のイブの方が盛大に行われることだ。そして、日本でも大晦日に賑やかにテレビ番組を見て初詣に行く。元旦の朝は、静かに迎える。正月も31日の夜からすでに始まっていると解釈できるのではなかろうか。

（金田一春彦著「ホンモノの日本語」角川ソフィア文庫より）

ちなみに、上田井家では大晦日の夜ごはんは家族全員が揃って「おめでとう」と言っています。